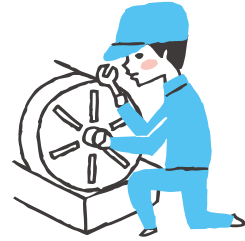


水道データ (工業用水道事業)

工業用水道事業

● 通水開始日(一部)
昭和29(1954)年6月15日

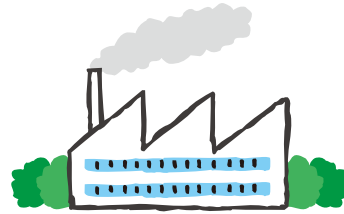


● 給水会社・工場数
283社、347工場 (平成29年4月1日現在)

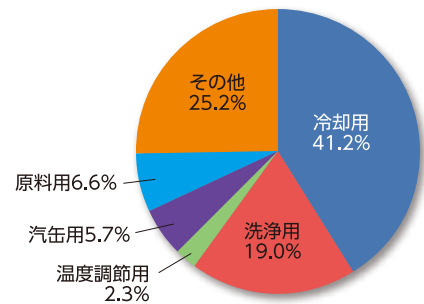
● 1日標準給水能力
151,000m³ (平成30年4月1日現在)

● 1日最大給水量
85,390m³ (平成28年度)
(過去最大 昭和45年 471,640m³)

● 1日平均給水量
67,116m³ (平成28年度)

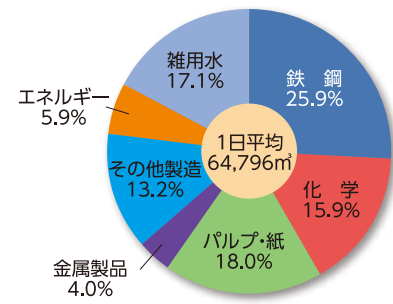


平成28年度 主な使用用途



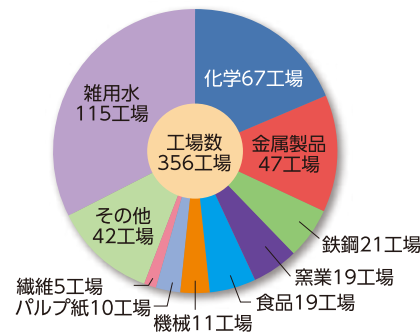
鉄鋼(冷却用)

平成28年度 業種別使用水量比率



製紙(原料用)

平成28年度 業種別工場数



雑用水(修景用)

水道の歴史

大阪市の水道は明治28(1895)年11月13日に、横浜、函館、長崎に次いで日本で4番目の近代水道としてスタートしました。以来、休むことなく大阪市民の毎日の生活と発展を支え続け、平成12(2000)年3月には高度浄水処理水を市内全域に通水しました。

年	大阪市水道局の出来事
明治 19年 1886	H.S.パーマー氏に上水道の設計を依頼
23年 1890	国の水道条例公布 上水道付設に関する議案が市会において議決
28年 1895	上水道創設事業完成 桜の宮水源地より11月13日通水
大正 3年 1914	柴島水源地完成
6年 1917	水道部発足
昭和 17年 1942	水道部、水道局に昇格
24年 1949	水質試験所 日本で最初の水道水質に関する自己検査機関として設立
27年 1952	地方公営企業法の施行により地方公営企業として発足
29年 1954	工業用水道一部通水開始
30年 1955	工業用水道創設事業完成
32年 1957	水道法制定 庭窪浄水場完成
41年 1966	大阪市水道事業及び工業用水道事業の設置に関する条例制定
43年 1968	豊野浄水場完成
56年 1981	柴島浄水場高度浄水処理パイロットプラントが完成
63年 1988	配水情報システムが完成
平成 元年 1989	営業所オンラインシステム稼動
7年 1995	通水100周年 水道記念館開館
12年 2000	高度浄水処理水を市内全域に通水
14年 2002	水道局WTC庁舎でISO14001の認証を取得
16年 2004	大阪臨海工業用水道企業団解散 大阪市が事業を引き継ぐ
17年 2005	水質試験所 日本で初めて水道GLPを認定取得
18年 2006	3浄水場でISO9001の認証を取得
20年 2008	水道局でISO22000の認証を取得 (公営水道事業体による組織全体での認証取得は世界初)